

9月14日(月) 9月号の青年部通信で告知の通り、西部はジュニアメンバー2名と女性メンバー1名を混ぜた9名で「もみじ」と「ピース」に、東部は「ばら」にて12名で、献血ルームでのマッサージ・ネイルケアなどのボランティア活動を実施してきました。

ピース

西部は、今の執行部メンバーでの実施は初めてで、当日の朝、「ピース」に全員集合し、マッサージネイルケアの工程を確認し合い、「もみじ」のメンバーと分かれました。今回のメディア取材は「ピース」にて行われ、加藤部長が対応に当たりました。さすがにテレビの取材とあって、緊張してる様子でございました。緊張した部長の姿、皆さん夕方のニュースでご覧になられましたでしょうか？昼休憩を近場で済ませ、午後からは欠員が出た「もみじ」へ1名、ネイル担当の応援を送って、1名減で頑張りました。

もみじ

11時に「もみじ」到着したら、すでに受付に並んでる人が多数いて、去年より献血に来られている人が多いと感じました。実際にマッサージやネイルも、去年より多くの方に施術させていただきました。女性もたくさん来られて、若い人も多かったです。「もみじ」のスタッフさんが、しっかり呼び込みしてくれたので、多くの方々に施術させていただきました。最後は全員ピースに集合し、1日の労をねぎらい、時間と体調にゆとりがある者は献血し、街へ散って行きました。



ばら

東部青年部も献血ルーム「ばら」で、ネイルとマッサージのボランティアを行いました。早速、毎日新聞が取材に来てくださり中村青年部長が対応しました。その後すぐに山陽新聞さんも取材に。そしてFMふくやまの生放送に、今度は中西くんが対応しました。今回は福山支部の瀬尾くん、平川さんも参加してくれたので、午前中だけで20名もの施術ができました。おそらく午前中だけの人数としては、過去最高です。だんだんと9月第2月曜は、理容ボランティアが献血ルームにいるのが認知されてきた証拠ですね。しかし午後の部は、なんと3人。来年は午前の人にもう少し多く配置したほうがいいかも。奉仕活動の後は、ピアホールにて打ち上げを行い、千鳥足で帰路につきました。

この度、栃木・茨城で発生しました、「平成27年9月関東・東北豪雨」について、心よりお見舞い申し上げます。青年部でも今後の対応について協議しておりますが、被災地域が広範囲に及んでおり、対応に苦慮しております。皆様におかれましても、青年部を通じて可能な活動がございましたら、助言下さいませよう、よろしく願い申し上げます。